



佐賀県酒造組合

『佐賀酒を米国、中国、香港などへ』

【主な品目】

日本酒

【主な輸出先国・地域】

米国、中国、香港、欧州、東南アジア

【輸出取組の概要】

- ◆ 日本酒の輸出拡大に向け、これまで米国・欧州・中国などからバイヤーや海外トップレストランのシェフ・ソムリエ、インフルエンサーなどを招へいし、酒蔵との商談会を開催。
- ◆ 酒蔵の輸出意欲は年々高まり、令和元年度の輸出量は、日本酒の輸出に重点的に取り組み始めた平成23年度に比べ7倍に増加。輸出を手がける酒蔵は10社から19社へ拡大した。

【取り組む際に生じた課題】

- ・ 海外市場に関する情報、輸出へのアプローチ方法や商談のやり方についての知識と経験が不足していた。

【生じた課題への対応】

- ・ ジェトロ佐賀アドバイザーによる貿易投資相談等を活用し、懸念事項を一つ一つ解消した。
- ・ 海外のバイヤーやトップレストランのシェフ・ソムリエ、インフルエンサーなどを招へいし、更には新たな販路開拓のため豪州に出向き、佐賀酒をPR。

【対応の結果】

- ・ 商談の機会が増え、酒蔵の輸出への意欲も年々高まり、輸出量は、日本酒の輸出に重点的に取り組み始めた平成23年酒造年度(7月～翌年6月)の1万9,200ℓから令和元年酒造年度には14万1,400ℓへと7倍に増加。また、輸出を手がける酒蔵は10社から19社へ拡大した。

【今後の課題・展望】

- ・ 酒蔵では新たな海外の顧客に対し、少量の輸出から始めるケースが多いため、リピートオーダーの獲得や輸出量の増加を目指し、商談会等を引き続き活用していく。
- ・ 海外のレストランほか、ワインショップやスーパー等への販路を開拓し、佐賀酒の魅力・認知度を高め、更なる輸出の拡大を進める。



香港での商談会の様子



フランスでの商談会の様子

【活用した支援・施策】バイヤー招へい、商談会、展示会、貿易投資相談など

【ウェブサイト】 www.sagasake.or.jp/

【連絡先】 佐賀県酒造組合 山崎みち子、TEL:0952-24-3201